

# 【常任委員会 審査レポート】

各委員会に付託された議案等について、  
議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

## 総務文教 常任委員会

笹川信子 委員長

### 旭・裏館統合保育所 裏館小学校近接地に用地取得予定

議第1号平成27年度三条市一般会計予算では、高等教育機関設置準備費について、ものづくり大学検討委員会は新年度早々に立ち上げたい。メンバーは学識経験者として工業系大学の教授、地元企業との連携のため三条商工会議所、三条工業会、今後このものづくり大学が有力な進学先となる県立工業高校、大学設置経験がある新潟県など、10人程度を想定しているとのことでした。

また、旭・裏館統合保育所建設事業費については、裏館小学校近接地

に約4000㎡の用地を取得予定。駐車場を確保し、子どもたちの安全や保護者の利便性も考慮したいとのことでした。

また、さんじょう一番星育成事業については、予算を増額し、学びのマルシェでは新たにトライアル教室を設置し、スポーツの一番星では団体の選定基準を改正し、競技実績が基準に満たなくても素質のある子どもがいて、その素質を伸ばしていけるような体制が整っている団体に支援できるように枠を増やし、文化・芸術の一番星では支援の枠を5名から10名に増やしたとのことでした。



## 市民福祉 常任委員会

岡田竜一 委員長

### 「食事・買い物券」を持って出かけましょう!

議第1号平成27年度三条市一般会計予算では、障がい者福祉事業について、福祉タクシーの対象にならず、デマンド交通も使えない方に対する配慮について、地域福祉でどのように補ってあげられるのかという大きな課題であり、今後の検討課題として捉えたいとのことでした。

議第4号平成27年度三条市介護保険事業特別会計予算では、給食サービスの廃止について、給食の提供が孤食につながったり、閉じこもりがちになる可能性があるとして、

現在サービスを受けている方へは、交流の場を設けるなど、その方の事情にあった支援策を取らせていただくことで対応したいと考えているとのことでした。

議第9号平成26年度三条市一般会計補正予算では、75歳以上の高齢者への食事・買い物券の配付について、使用できる店舗については検討中だが、家族や近所の方から協力いただいた中で、本人の意向に沿った買い物に使っていただきたい、丁寧なPRに努めながら高齢者の外出を誘引していきたいとのことでした。



## 経済建設 常任委員会

山田富義 委員長

### 先進農業者の下で青年就農者を2年間研修

議第1号平成27年度三条市一般会計予算では、2月に第1回が開催され盛況だった東京三条交流会事業の目的について、緩やかな交流から始め、ビジネスマッチング等につなげていくのが望ましいと考えているとのことでした。

また、須頃郷地区緊急内水対策事業について、燕市と一体で28年度にかけて実施することにより、整備箇所周辺では道路冠水を解消できる見込みであるとのことでした。

議第9号平成26年度三条市一般会計補正予算では、利益が上がっていないご用聞き笑店街の継続について、買

い物弱者対策として有効であり、高齢化が進む中で、今後必要性が高まるシステムではないかと考えているので、登録・利用者数の増加、コスト削減等について、運営団体と協議の上運営していきたいとのことでした。

また、青年就農者育成等支援事業の研修先が茨城県であることについて、全国で最も先進的で成功している農業者であり、気候等の条件の違いは、研修期間が終了し、市内で就農した後の現地指導によりフォローアップできると考えているとのことでした。



## 成人式の案内状について

**問** 現在成人式の案内状は、住民基本台帳に基づいて発送されている。高校卒業後、就学あるいは就職によって市外に住所を移している子どもたちがいる。新総合計画でも、若者をどう三条に呼び戻すかが焦点になっている中、市外の対象者にも案内状を送るべきではないか。

**答** 3月1日現在、市外に住所のある対象者が158人、送付希望者が57人あった。現在は、広報紙等でPRしているが、来年度は市外転出者にも送付できるように検討する。

## 社会基盤の維持管理について

**問** 公共施設、体育館などの雨漏りは、発生から数年たっても修理がされない施設がある。また市道の除雪が終わり、かなり傷んでくる箇所もあるが、表面のデコボコが直されないままの場所が見受けられるが速やかに整備することができないのか。

**答** 一般論では早めにより手当てすることを原則としている。道路については危険性の高いところから順次補修している。



体育館の雨漏り

## 三条市内の児童生徒の学力の実態と学力向上に向けた今後の取り組みについて

**問** 文部科学省が行っている全国学力学習状況調査から三条市の子どもたちの学力の実態はどのような状況か。学力向上対策としてどのような取り組みを進めてこられたのか。

**答** 小学校では全国を上回っている。中学校は全国と県を下回っている。下がり幅は徐々に縮小し改善が見られる。小中学校教職員が一緒に考え、連携協力しながら学力の向上を図っており、小中一貫教育

を基盤とし、学びのマルシェを継続していく。

## 清流五十嵐川への復元対応について

**問** 清流五十嵐川への復元に向け今後どのように対応していくのか。生息していた魚類の生態系を水害前の状態に戻すことができるのか。

**答** 本年2月26日に学識者、専門家、関係者から構成される第1回清流五十嵐川への再生にかかる検討会が開催された。今後も継続的な取り組みを進め、河川環境の改善を図っていく。

## 看護系高等教育機関の設置もしくは誘致について

**問** 総合的看護学校という言葉は分かりにくい言葉だと思いが、三条市が開校する看護教育について具体的な表現にしたらどうか。

**答** 准看護師の2年課程、准看護師から看護師になるための2年課程、看護師を目指す3年課程の三つのコースを総合的に展開できる意味で総合的看護学校とした。具体的にはこれから議論していく。

**問** 看護学校検討委員会の構成について

**答** 現段階では、看護師養成所の教員や大学教授、三条医師会、看護協会、病院関係者、三条東高校、新潟県など10人程度の委員構成を考えている。

**問** 三つのコースの看護教育を始めるには看護教員が18人必要。教員の確保についてはどのように取り組んでいくのか。

**答** 検討委員会に専任の教員や医師会からも参加してもらい、協力いただける環境づくりをしながら取り組んでいきたい。

## 認知症について

**問** 認知症サポーターやキャラバン・メイトの活躍の場はあるのか。

**答** 介護施設でのボランティア活動がある。健康マイレージ事業と併せて周知していきたい。



認知症サポーター養成講座の教材